

令和7年度 火災予防作品入選作品

ポスターの部



賞 名 高山市長賞
学 校 名 中山中学校
学 年 2年生
氏 名 中齋 心垂
ふりがな なかさい とあ



賞 名 高山市議会議長賞
学 校 名 岩滝小学校
学 年 2年生
氏 名 清水 美晴
ふりがな しみず みはる



賞 名 高山市教育長賞
学 校 名 南小学校
学 年 6年生
氏 名 垣越 梨沙
ふりがな かきこし りさ



賞 名 高山市消防本部消防長賞
学 校 名 宮小学校
学 年 3年生
氏 名 坂本 杏花
ふりがな さかもと ももか



賞 名 高山市消防団長賞
学 校 名 中山中学校
学 年 3年生
氏 名 赤尾 希実
ふりがな あかお のぞみ



賞 名 高山消防署長賞
学 校 名 東小学校
学 年 5年生
氏 名 矢筈原 呼世
ふりがな やのはら こよ



賞 名 高山市防火協会長賞
学 校 名 久々野小学校
学 年 1年生
氏 名 中本 雄惺
ふりがな なかもと ゆうせい



賞 名 高山市防火協会長賞
学 校 名 江名子小学校
学 年 4年生
氏 名 岡田 健吾
ふりがな おかだ けんご

令和7年度 火災予防作品入選作品

ポスターの部



賞 名 高山市危険物安全協会会長賞
学 校 名 荘川さくら学園(前期)
学 年 5年生
氏 名 山越 尚之
ふりがな やまこし なおゆき



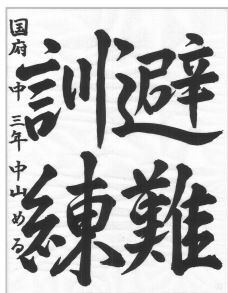
賞 名 高山市消防協会会長賞
学 校 名 東山中学校
学 年 2年生
氏 名 矢簗原 綺乃
ふりがな やのはら きの



賞 名 (一社)日本損害保険協会賞
学 校 名 山王小学校
学 年 4年生
氏 名 梶山 晴陽
ふりがな すぎやま はるひ

令和7年度 火災予防作品入選作品

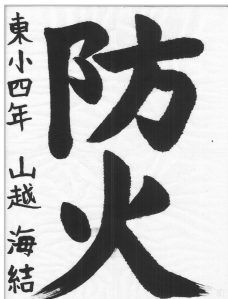
習字の部



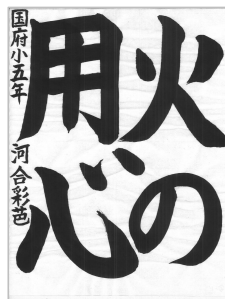
賞 名 高山市長賞
学 校 名 国府中学校
学 年 3年生
氏 名 中山 める
ふりがな なかやま める



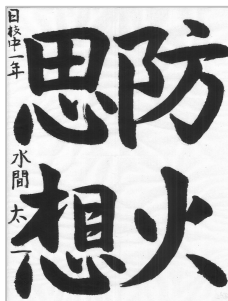
賞 名 高山市議会議長賞
学 校 名 宮小学校
学 年 1年生
氏 名 大江 譲生
ふりがな おおえ じょう



賞 名 高山市教育長賞
学 校 名 東小学校
学 年 4年生
氏 名 山越 海結
ふりがな やまこし みゆ



賞 名 高山市消防本部消防長賞
学 校 名 国府小学校
学 年 5年生
氏 名 河合 彩芭
ふりがな かわい いろは



賞 名 高山市消防本部消防長賞
学 校 名 日枝中学校
学 年 1年生
氏 名 水間 太一
ふりがな みずま たいち



賞 名 高山市消防団長賞
学 校 名 北小学校
学 年 3年生
氏 名 山田 詩季
ふりがな やまだ しき



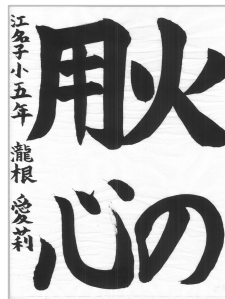
賞 名 高山市消防団長賞
学 校 名 丹生川小学校
学 年 4年生
氏 名 林 志郎
ふりがな はやし しろう



賞 名 高山消防署長賞
学 校 名 中山中学校
学 年 2年生
氏 名 村田 亜実
ふりがな むらた あみ



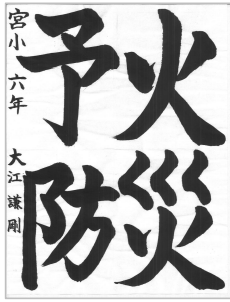
賞 名 高山市防火協会長賞
学 校 名 北小学校
学 年 1年生
氏 名 松下 耀大
ふりがな まつした ようた



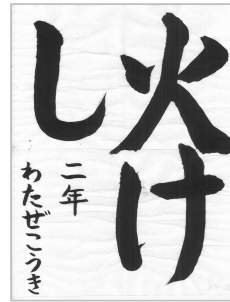
賞 名 高山市防火協会長賞
学 校 名 江名子小学校
学 年 5年生
氏 名 瀧根 愛莉
ふりがな たきね あいり

令和7年度 火災予防作品入選作品

習字の部



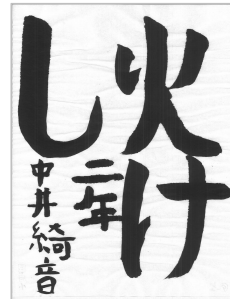
賞 名 高山市防火協会会長賞
学 校 名 宮小学校
学 年 6年生
氏 名 大江 謙剛
ふりがな おおえ けんごう



賞 名 高山市危険物安全協会会長賞
学 校 名 宮小学校
学 年 2年生
氏 名 渡瀬 公喜
ふりがな わたせ こうき



賞 名 高山市危険物安全協会会長賞
学 校 名 東小学校
学 年 6年生
氏 名 村田 知彩
ふりがな むらた ちさ



賞 名 高山市消防協会会長賞
学 校 名 国府小学校
学 年 2年生
氏 名 中井 綺音
ふりがな なかい あやね



賞 名 高山市消防協会会長賞
学 校 名 北小学校
学 年 5年生
氏 名 山田 珠以
ふりがな やまだ すい



賞 名 (一社)日本損害保険協会賞
学 校 名 国府小学校
学 年 3年生
氏 名 若山 心暖
ふりがな わかやま こはる

令和7年度 火災予防作品入選作品

作文一の部

賞 名 高山市防火協会会長賞

学 校 名 南小学校

学 年 5年生

氏 名 宮田 彩愛

ふりがな みやた さえ

1

地域防災について考える
南小学校 五年 宮田 彩愛

私は地域の防災がどのように行われているか、また、火災を防ぐにはどうしたらよいかわ、お父さんに相談してみました。私のお父さんとおじいちゃんには消防団で活動し、地域を守ってきた話をしてくれました。

昔は火事が多く、風仕事でも仕事をやめ、火災現場へ行ったり、真夜中や早朝など時間も関係なく、地域を守るために火を消しに行っていたそうです。また冬場の火事は放水の中に氷にぬれた服が凍ってしまいとても寒かったそうです。しかし、自分のことよりも火事で家が燃えている人の姿を見ると、火を早く消してあげたい気持ちでいっぱいだったそうです。

火を消すための訓練として、操法大会という技術を競う大会があり、ニヶ月間みっちり練習をして技術を高めたり、川などで放水訓練などもしたそうです。

最近、火事のサイレンを聞くと少しびく

2

りすることがあります。家から遠くの方を見るとき、黒なけむりがもくもくとあがっている所を見たことがあります。そんな時、私はその家の人は大いさう夫なのだろうか、いっになら火は消えるのだろうか、火災原因は何だったのだろうかという思いをしました。

しかし、消防署からたくさんの消防車と水に続いて救急車が出動し、各地から消防団の消防車のサイレンを聞くとすばやく火事を消してくれそうなきがしました。

私は、三年生のときに消防署へ見学をしに行きました。そのときのことを思い出して、ノートをふり返ってみました。消防士さんは、消火活動の他に仕事があるって、地域の人たちの所や、学校へ行ったりなん訓練をしていて、日ごろから火事に気をつけて自分の命は自分で守るということと、火事の知らせを伝えたり消火器の使い方を教えているということとを勉強していました。二十四時間安心して私たちがくらせるのは消防のおかげでした。

令和7年度 火災予防作品入選作品

作文一の部

3

私は、火災を防ぐには一人一人のふだんからの心がけが大切だということを思いました。そんな中で私の住んでいる町内でも春二日間、六カ所で、防火訓練が行われていることを知りました。防火栓からホースをつなぎ、実際に水を出して放水訓練をしています。また、水の入った消火器を使い、初期消火の訓練もしています。子どもも参加しています。みんな練習とはいえ、本番さながらに真剣に取り組んでいます。

私にできる火災予防は一体何だろうか。ということを考えてみました。家の中では料理の後に火が消えているか確認することや、アイロンの後にコンセントをぬいているか、たこ足はいせんになっていないかを確かめたりすることなどです。また、花火やバーベキューの後の火のしまつなど火が消えているか、しっかりと確認することが大事だと思います。そして火災を防ぐには、日ごろからの心かけと対策を大切にしていきたいです。